

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

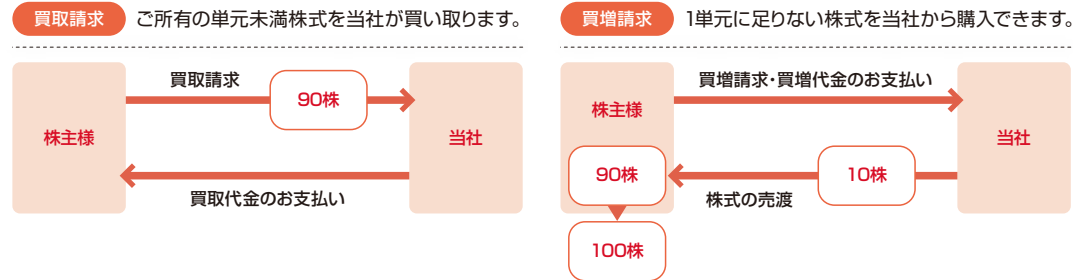
【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
 - 未受領の配当金
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ
第61期 第2四半期
報告書

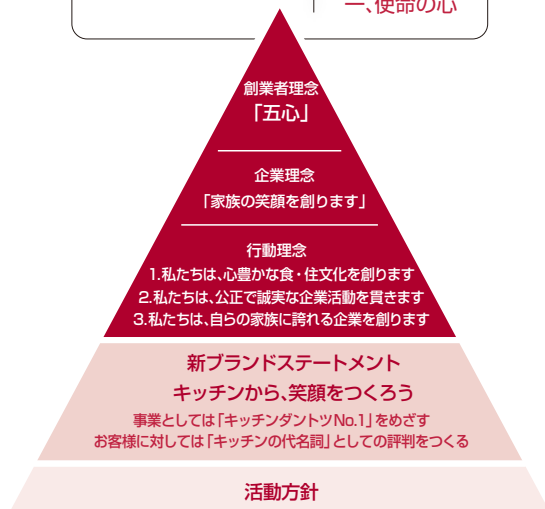
2013年4月1日から 2013年9月30日まで

株主の皆さまへ

クリナップの企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出しております。

■ 新企業理念



上記三つの理念(創業者理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、“The Kitchen Company”を確立します。

増収増益基調を持続。
“企業理念を实践する経営”を推し進め、
『ザ・キッチンカンパニー』の確立を
目指してまいります。



代表取締役社長

井上 強一

2014年3月期第2四半期連結累計期間の 連結決算ハイライト

- 売上高は、当初の増収予想を上回るとともに、前年同期比8.6%増となりました。
- 利益面でも当初予想を大幅に上回り、営業利益が前年同期比61.0%増、経常利益が同66.0%増、四半期純利益が同64.2%増となりました。

中期経営計画『12中計』は2年目を迎え、着実な成長を続けております。

2012年度(2013年3月期)よりスタートした3カ年の中期経営計画『12中計』は、当期(2014年3月期)に2年目を迎え、成長戦略の本格化が着実な成果となっております。前期において前年同期比9.8%の増収、100.6%の営業増益となった勢いそのままに、当上半期も8.6%の増収、61.0%の営業増益を果しました。そして、当期の通期業績見通しは、当初予想を上方修正し、売上高1,215億円、営業利益58億円を予想しております。

この好調な業績推移は、企業理念に基づいた経営活動をご評価いただいた成果であると考えております。

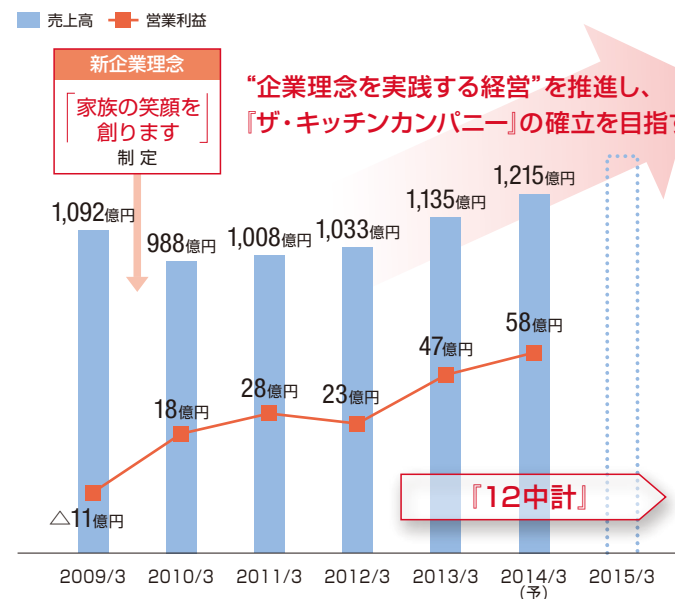
当社は、2009年に創業60周年を迎えるに当たり、新たな企業理念として『家族の笑顔を創ります』を制定しま

した。すべての施策はこの実現を目指す取り組みであると認識し、各施策を積極的に推し進めてまいりました。

また、「クリナップとは何か、どうあるべきか」を改めて見つめ直し、キッチン専門メーカーならではの強みを生かした価値提供こそが、当社のあるべき姿勢であることを再認識しました。以来、お客さまに喜んでいただける「製品」および「サービス」の創造と提供を通じて、『ザ・キッチンカンパニー』としての確立を目指してまいりました。

この『ザ・キッチンカンパニー』として「家族の笑顔を創る」ことを地道に積み重ねてきた結果が“ブランドとしての信頼”を高め、“結果としての収益”を向上させたものと確信しております。

■ 当社の業績推移と中期経営計画『12中計』の概要



『12中計』の概要

(2013年3月期~2015年3月期)

2013年3月期
経営基本方針

『12中計』を徹底的に推進し、
「ザ・キッチンカンパニー」
を確立する

2014年3月期
経営基本方針

「ザ・キッチンカンパニー」
の確固たる確立

株主の皆さまへ

『ザ・キッチンカンパニー』の確立に向け、5つの施策を推し進めております。

『12中計』の2年目の当期は、経営基本方針として「ザ・キッチンカンパニー」の確固たる確立を掲げ、「生産力」、「営業力」、「商品力」、「海外事業力」、そして中核となる「ブランド力」という5つの力の強化を推し進めております。

「生産力」については、事業継続計画(BCP)の観点から東西2生産拠点体制の構築を進めており、当期中に西日本地区においてもシステムキッチンの自己完結生産が可能な体制が完成する予定となっております。

「営業力」については、前期に引き続き、お客さまとの重要な接点であるショールームの強化を推し進めており、本年4月～10月の間に6カ所の移転・改装による全面リニューアルを実施しました。また、リフォーム需要に対応した地域の有力工務店の会員登録制組織「水まわり工房」約3,100店とのタイアップにより、全国102カ所のショールームを活用したリフォームフェア

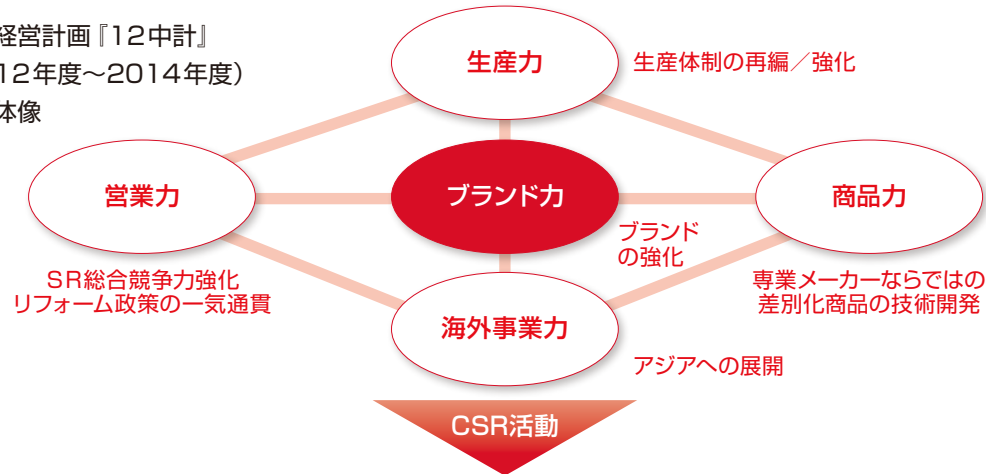
も積極的に開催(当上半期は2,030回の開催)しております。「商品力」については、「クリンレディ」を核とした品揃えで、ステンレス製のシステムキッチンが実現する高い品質を前面に押し出し、シェアを着実に伸ばしております。

「海外事業力」についても、アジアを中心としたショールームを拠点に、今後の事業拡大に向けた準備が着々と進んでおります。

「ブランド力」については、全国のショールームを拠点にサロネーゼを講師としたお料理教室の定例化、「弁当の日」応援プロジェクトへの協賛による積極的な食育活動など、「家族の笑顔」につながる様々な施策を展開しております。

これらの取り組みを積み重ね、当社は『ザ・キッチンカンパニー』としての地位をより確かなものとしてまいります。株主の皆さまには、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

■ 中期経営計画『12中計』
(2012年度～2014年度)
の全体像

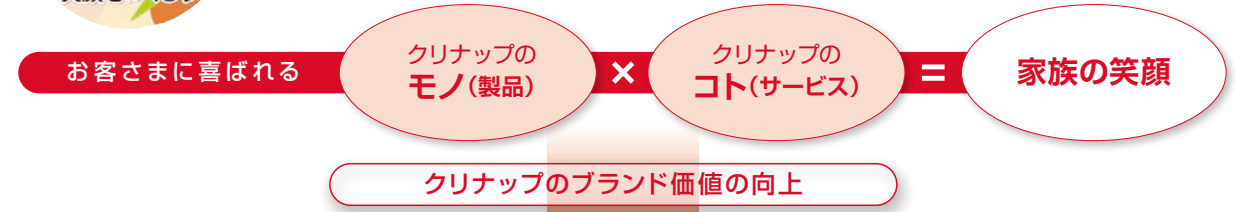


“The Kitchen Company”の実現

特集: “The Kitchen Company”としてのモノづくりの姿勢



クリナップは、“The Kitchen Company”として、専門メーカーならではの「モノ」や「コト」をかけあわせ、お客さまに「家族の笑顔」を提供します。

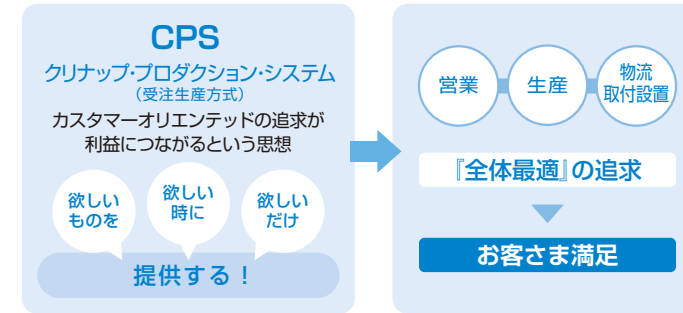


“The Kitchen Company”

専門メーカーならではの「モノ」

クリナップ独自の品質管理思想に基づいた「CPS(クリナップ・プロダクション・システム)」によるモノづくり

「CPS」は、お客さまが“欲しいもの”を“欲しい時に”“欲しい数量”だけ提供する、というカスタマーオリエンテッドを実現するもので、当社は、この姿勢を追求することで利益は自然とついてくるという思想・信念を基礎としています。



専門メーカーならではの「コト」

ショールームの活用やCSR活動を含めたクリナップ独自の企画

当社は、ショールームを活用した企画や、CSR活動など、家族の笑顔につながるような様々な企画を立案し、展開しています。



主なトピックス



商品関連

クリナップのキッチンツールの中でも、フラッグシップモデルであるステンレスシステムキッチン「S.S.」が“強さ”も“キレイ”も進化し、生まれ変わりました



ステンレスキャビネット構造、オールスライド収納、美・サイレントシンクなど、キッチンの新しい時代を創造してきたステンレスシステムキッチン「S.S.」。この度、クリナップのステンレスへのこだわりをさらに詰め込み、強靱さと清潔さを極めた“美コートワークトップ”を標準装備いたしました。他にも、ガスコンロまで色選びを楽しむことが出来る「カラーステンレスフェイスガスコンロ」の採用など、理想のキッチンづくりに向けてさらに進化いたしました。

“美コートワークトップ”のこだわり

1 汚れ+キズに強い! **美コート** (親水性のセラミック系特殊コーティング)

水に馴染みやすい親水性のセラミック系特殊コーティング。汚れの下に水が入り込み、汚れを浮かします。さらに、ステンレスたわしで擦っても細かいキズがつきにくく美しさを長く保てます。

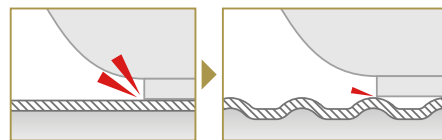
水拭きによる汚れ落ちの比較



▲美コートあり ▲美コートなし

2 キズに強い! **特殊エンボス加工**

ワークトップ表面の特殊エンボス加工が、食器類とワークトップが接する面を減少。擦れキズがつきにくく、目立ちにくくしています。



▲従来のフラットなワークトップ ▲特殊エンボス加工を施した美コートワークトップ

CSR 関連

「弁当の日」応援プロジェクトの推進

当社は、子供による弁当作りを通じた食育活動「弁当の日」応援プロジェクトに協賛しております。2013年7月31日に、日本タッパーウェア株式会社と共催で、「弁当の日」の活動に関する講演会と小学生を対象とした料理教室をクリナップ新宿ショールームで実施。また、2013年6月8日には、「西日暮里ふれあい館」にて荒川区日暮里地区「弁当の日」委員会が開催した食育講演会において、「弁当の日」応援プロジェクト参加企業として計画・運営を直接支援いたしました。



▲小学生を対象とした料理教室の様子



▲食育講演会の様子

ショールーム関連

天空のショールーム「キッチンタウン・クリナップ・大阪」4つのキッチン・ルームをリニューアル

2012年7月にオープンした、「キッチンタウン・クリナップ・大阪」のオープン周年を記念し、コンセプト展示「キッチン・ルーム」の4つをリニューアル。うち、2つは当社運営のドリーミアサロンに登録されている15人のサロンエゼがワークショップを行い、主人公の人物設定やライフスタイル・家族構成などを仮想しプランニングしたもの。残り2つは、クリナップ水まわり工房加盟店によるプランニングで、キッチンデザインコンペにて最優秀賞を獲得したものです。



サロンエゼプランニング
水まわり工房加盟店プランニング

地域の皆さまがより過ごしやすい空間に各地ショールームをリニューアル

大切な顧客接点の場であるショールームの価値提供を強化するため、各地のショールームを移転・改装にて全面リニューアルオープン。4月～10月は6カ所のショールームにて実施いたしました。

空間展示ショールーム

イベント対応型ショールーム

相模原ショールーム

富山ショールーム

北大阪ショールーム

甲府ショールーム

盛岡ショールーム

佐賀ショールーム

改装のポイント

イベント対応力を強化し、料理教室等の食と暮らしに関する様々なイベントと情報の発信を行う。

改装のポイント

ダイニングまでの居住スペースを再現。実際のキッチンと収納、ダイニングとの距離感を体験できる。

盛岡ショールーム ▶



「親孝行って、いいね！」キャンペーンの授賞式を開催

「親孝行って、いいね！」キャンペーンの授賞式を、2013年5月15日にクリナップ新宿ショールームにて開催。最優秀エピソード賞と特別賞のお二人には最高級システムキッチン「S.S.」が贈呈され、目録がそれぞれのご両親に手渡されました。



▲授賞式の様子

プロ野球「マツダオールスターゲーム」と「ふくしま復興祭」に広告協賛

2013年7月22日のプロ野球「マツダオールスターゲーム2013」および、21日・22日に行われた「ふくしま復興祭」を支援するため、オールスターゲーム会場（いわきグリーンスタジアム外野スタンド）と、復興祭会場の21世紀の森公園特設ステージに広告協賛いたしました。



▲ふくしま復興祭の様子



連結ハイライト情報／連結部門別情報

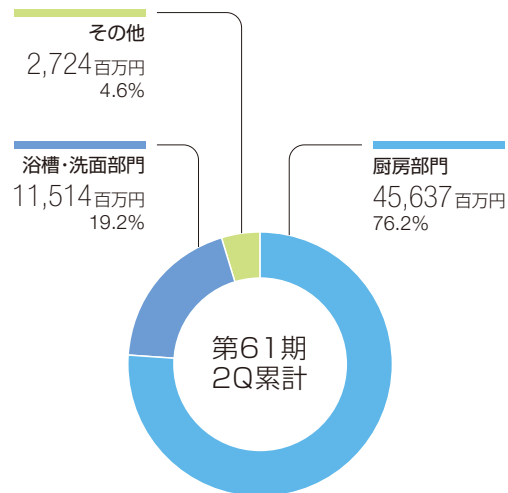
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第59期2Q累計 2012年3月期2Q累計	第59期 2012年3月期	第60期2Q累計 2013年3月期2Q累計	第60期 2013年3月期	第61期2Q累計 2014年3月期2Q累計
売上高	46,478	103,377	55,159	113,533	59,876
営業利益	520	2,370	2,338	4,755	3,764
経常利益	433	2,083	2,146	4,372	3,563
四半期(当期)純利益(損失:△)	△ 149	2,155	1,290	2,506	2,119
総資産	81,516	84,810	86,517	85,891	89,204
純資産	51,560	53,797	54,760	56,033	57,800

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第60期2Q累計 2013年3月期2Q累計	第60期 2013年3月期	第61期2Q累計 2014年3月期2Q累計
厨房部門	41,697	87,285	45,637
浴槽・洗面部門	11,094	21,257	11,514
その他	2,367	4,991	2,724
合計	55,159	113,533	59,876

厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」シリーズ、中・高級品クラスの「クリンレディ」シリーズ、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

第61期第2四半期連結累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策への期待感を背景に、輸出環境や株式市場に改善の動きがみられ、景気回復への期待感が高まっております。

住宅設備機器業界におきましては、政府による住宅取得支援策に加え、消費税増税による駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数は2012年9月より連続して前年同月を上回るなど、堅調に推移いたしました。

業績・成果

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心として、2013年6月に「hairo (はいろ)」のデザイン性を高めてフルモデルチェンジしたシステムバスルーム「ユアシス」や高さのバリエーションが豊富になった洗面化粧台「ティアリス」や「S[エス]」等、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国102カ所のショールームを活用した新商品フェアを実施し、当社の会員

登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動(※)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.6%増の598億76百万円となりました。利益面では営業利益は同61.0%増の37億64百万円、経常利益は同66.0%増の35億63百万円、四半期純利益は同64.2%増の21億19百万円となりました。

※VE活動：VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

第61期第2四半期連結累計期間の部門別の状況

厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも減、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」も数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比9.4%増の456億37百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも微増、「ユアシス」は数量、金額とも増、洗面化粧台においても数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比3.8%増の115億14百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比26億57百万円増加し615億4百万円となりました。これは有価証券が6億99百万円減少した一方、現金及び預金が24億16百万円、受取手形及び売掛金が2億29百万円、電子記録債権が1億7百万円、商品及び製品が5億9百万円増加したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比6億56百万円増加し276億99百万円となりました。これは有形固定資産が1億77百万円増加、無形固定資産が3億86百万円増加、投資その他の資産が92百万円増加したことによります。

資産合計 総資産は前期末比33億13百万円増加し892億4百万円となりました。

	第60期2Q 2012年9月30日現在	第61期2Q 2013年9月30日現在	第60期 2013年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	59,688	61,504	58,847
現金及び預金	24,820	27,107	24,690
受取手形及び売掛金	25,070	25,160	24,931
その他	9,841	9,282	9,269
貸倒引当金	△ 44	△ 45	△ 44
固定資産	26,828	27,699	27,043
有形固定資産	18,648	19,673	19,496
建物及び構築物	8,064	8,655	8,498
その他	10,584	11,018	10,998
無形固定資産	1,825	2,253	1,867
投資その他の資産	6,353	5,772	5,679
投資有価証券	2,646	3,199	3,074
その他	3,804	2,662	2,703
貸倒引当金	△ 97	△ 89	△ 98
資産合計	86,517	89,204	85,891

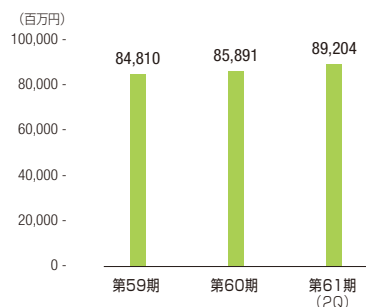
	第60期2Q 2012年9月30日現在	第61期2Q 2013年9月30日現在	第60期 2013年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	24,510	24,501	22,094
買掛金	6,615	6,843	6,849
その他	17,894	17,658	15,245
固定負債	7,246	6,902	7,762
長期借入金	2,668	2,368	3,168
退職給付引当金	1,775	1,696	1,793
役員退職慰労引当金	424	424	424
その他	2,378	2,411	2,376
負債合計	31,756	31,404	29,857
(純資産の部)			
株主資本	54,595	57,231	55,578
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	29,201	31,837	30,183
自己株式	△ 224	△ 224	△ 224
その他の包括利益累計額	164	569	455
その他有価証券評価差額金	175	532	450
為替換算調整勘定	△ 10	36	5
純資産合計	54,760	57,800	56,033
負債純資産合計	86,517	89,204	85,891

流動負債 流動負債は前期末比24億7百万円増加し245億1百万円となりました。これは短期借入金が15億円、未払法人税等が6億75百万円増加したこと等によります。

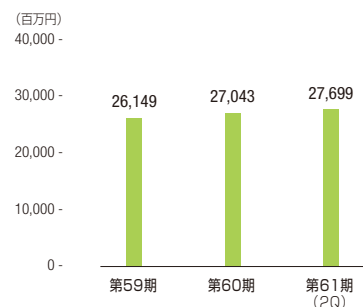
固定負債 固定負債は前期末比8億60百万円減少し69億2百万円となりました。これは長期借入金の減少等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比17億66百万円増加し578億円となりました。これは四半期純利益21億19百万円、配当金の支払い4億65百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の65.2%から64.8%になりました。

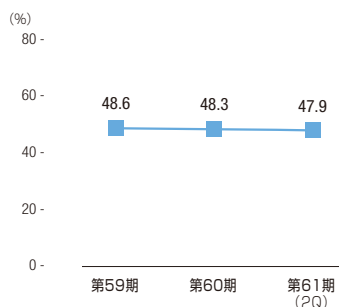
■ 資産合計



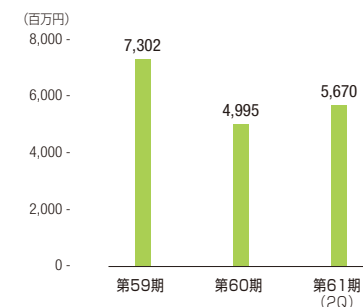
■ 固定資産



■ 固定比率

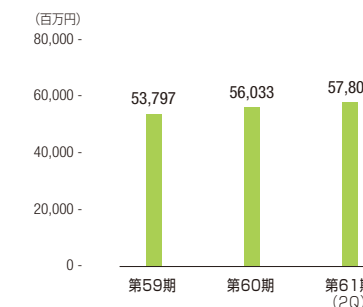


■ 有利子負債

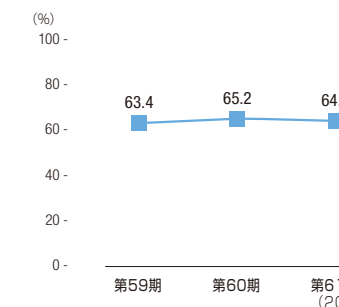


(※) 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

売上高 新設住宅着工戸数の堅調な推移もあり、厨房部門、浴槽・洗面部門ともに前年同期を上回り、売上高は前年同期比8.6%増の598億76百万円となりました。

売上原価 原材料値上げの影響はあったものの、主力のクリンレディをはじめとした原価低減効果により、売上原価率が前年同期比0.4ポイント低下し64.8%となりました。

販管費 前年同期に実施したTVスポットCMが当第2四半期連結累計期間はなかったこと、その一方で増収による物流費の増加、人員増による人件費の増加などがありました。この結果、販管費は前年同期比4億48百万円増加しましたが、販管費率は同1.7ポイント低下し29.0%となりました。

営業利益 増収のなか、売上原価率・販管費率がともに低下したことにより、営業利益は前年同期比61.0%増の37億64百万円となりました。

四半期純利益 四半期純利益は前年同期比64.2%増の21億19百万円となりました。

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

	第60期2Q累計	第61期2Q累計	第60期
	2012年4月1日～ 2012年9月30日	2013年4月1日～ 2013年9月30日	2012年4月1日～ 2013年3月31日
(連結損益計算書)			
売上高	55,159	59,876	113,533
売上原価	35,933	38,775	74,774
売上総利益	19,226	21,100	38,758
販売費及び一般管理費	16,887	17,336	34,003
営業利益	2,338	3,764	4,755
営業外収益	255	266	512
営業外費用	447	467	895
経常利益	2,146	3,563	4,372
特別利益	71	7	71
特別損失	83	48	215
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,134	3,522	4,228
法人税等	843	1,403	1,722
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	1,290	2,119	2,506
四半期(当期)純利益	1,290	2,119	2,506
(連結包括利益計算書)			
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	1,290	2,119	2,506
その他の包括利益	△ 95	113	195
四半期包括利益(包括利益)	1,195	2,232	2,702

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

	第60期2Q累計	第61期2Q累計	第60期
	2012年4月1日～ 2012年9月30日	2013年4月1日～ 2013年9月30日	2012年4月1日～ 2013年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,580	3,157	7,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,365	△ 1,443	△ 3,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,131	177	△ 2,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	24	16
現金及び現金同等物の増減額	1,085	1,916	956
現金及び現金同等物の期首残高	26,248	27,204	26,248
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	27,333	29,121	27,204

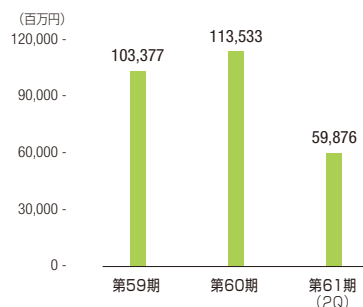
営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によって得られた資金は31億57百万円(前年同期比11.8%減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が35億22百万円と前年同期比13億88百万円の増益で、減価償却費14億27百万円等があった一方、たな卸資産の増加7億1百万円、法人税等の支払額7億26百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は14億43百万円(前年同期比5.7%増)となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得に伴う支出が10億79百万円、情報システム構築に伴う支出が5億71百万円あった一方、有価証券の償還による収入が2億円あったこと等によるものです。

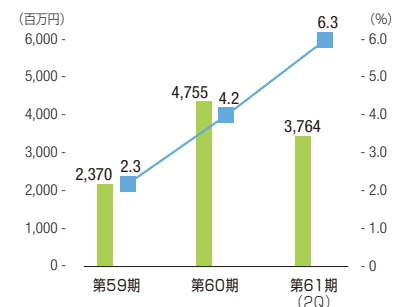
財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果得られた資金は1億77百万円(前年同期は11億31百万円の使用)となりました。これは長期借入金約定返済7億99百万円、配当金の支払いが4億65百万円あった一方、短期借入れによる収入が15億円あったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の四半期末残高
現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末に比べ19億16百万円増加して291億21百万円となりました。

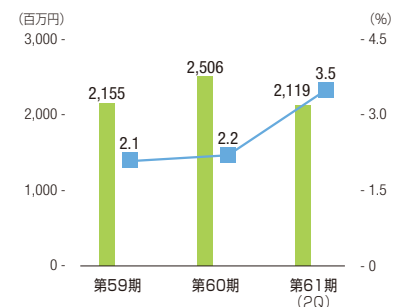
■ 売上高



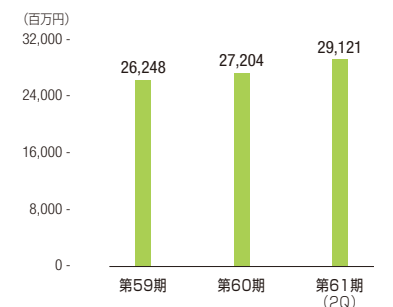
■ 営業利益・営業利益率



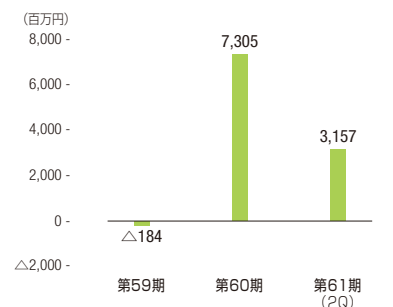
■ 四半期(当期)純利益・四半期(当期)純利益率



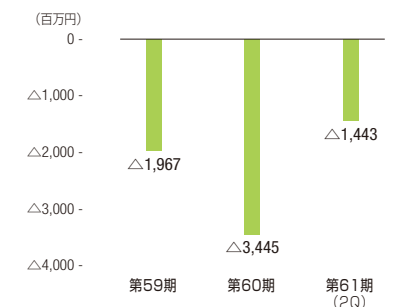
■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



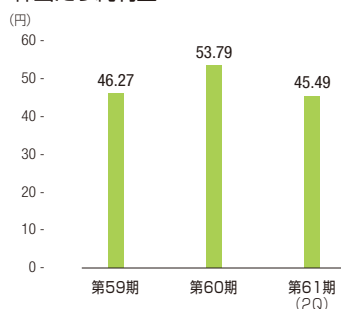
株主関連情報 (2013年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

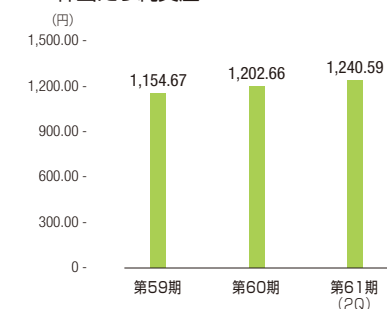
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、配当を決定しております。

以上の方針に基づき、業績が堅調に推移していることから中間配当金は、1株当たり10円(5円増配)とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円(5円増配)を予定しております。

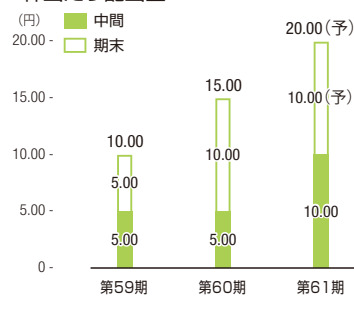
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

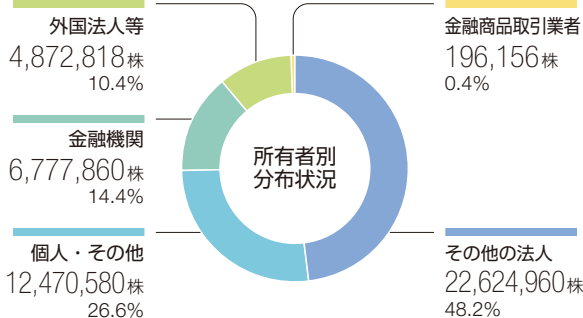


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000株
発行済株式総数	46,942,374株
株主数	4,493名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	26.7
株式会社タカヤス	6,829	14.6
クリナップ社員持株会	2,181	4.6
クリナップ実業会	1,862	3.9
クリナップ共進会	1,491	3.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,190	2.5
井上 けよ	1,133	2.4
ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャステック アカウト	1,040	2.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.4

注) 持株比率は自己株式(350,848株)を控除して計算しております。

会社情報 (2013年9月30日現在)

■ 会社概要

商号 クリナップ株式会社
Cleanup Corporation
本社所在地 〒116-8587
東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話 03-3894-4771(大代表)
創業 1949年10月5日
会社設立 1954年10月5日
上場 1990年2月6日 東証2部上場
1991年9月2日 東証1部指定
資本金 132億6,734万円
主要営業品目 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数 連結：3,364名 / 単体：2,679名
主な事業所 支社：国内3カ所
支店：国内5カ所
営業所：国内123カ所
海外：香港支店、北京事務所
工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島
(いずれも福島県いわき市)

■ 役員

代表取締役社長 井上 強 一 常勤監査役 山根 康 正
取締役 加藤 亨 一 常勤監査役 山本 幸 男
取締役 小島 輝 夫 監査役 新谷 謙 一
取締役 小松 裕 恒 監査役 有賀 文 宣
取締役 鈴木 章
取締役 松浦 昌 孝
取締役 佐藤 茂
取締役 屋代 光 昭
取締役相談役 高嶋 信

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

■ ショールーム (全国102カ所)

北海道支店ブロック 4カ所 静岡支店ブロック 4カ所
東北支店ブロック 13カ所 中部支店ブロック 13カ所
東京支店ブロック 24カ所 関西支店ブロック 26カ所
上信越支店ブロック 7カ所 九州支店ブロック 11カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

*株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

